

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

(法人所得税費用 / 親会社の所有者に帰属する四半期利益及び非支配持分に帰属する四半期利益)

(2) 財政状態

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ2,018億円増加し、3兆2,705億円となりました。棚卸資産や有形固定資産が増加しました。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1)

第4 【経理の状況】

1. 要約四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の要約四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）第93条の規定により、国際会計基準第34号「期中財務報

1 【要約四半期連結財務諸表】

(1) 【要約四半期連結財政状態計算書】

(単位：百万円)

注記	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
----	-------------------------	-------------------------------

(2) 【要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書】

【要約四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

E00752)

【要約四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(3) 【要約四半期連結持分変動計算書】

前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

(4) 【要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

3. 重要な会計方針

当社グループが本要約四半期連結財務諸表において適用する会計方針は、以下に記載の事項を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第3四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積平均年次実効税率を基に算定しております。

当社グループは、第1四半期連結会計期間よりIFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」(2016年4月改訂。以下「IFRS第15号」という。)を適用しております。

5 . セグメント情報

(1) E00752)

前第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

(単位：百万円)

--	--	--	--	--	--	--	--	--

7. その他の営業収益及び営業費用

その他の営業収益の内訳は以下のとおりであります。

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
固定資産売却益	6,773	392
事業譲渡益	8,962	-
その他	6,719	7,496
合計	22,454	7,888

その他の営業費用の内訳は以下のとおりであります。

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
事業構造改善費用(注)	8,529	6,110
その他	5,104	5,913
合計	13,633	12,023

(注) 事業構造改善費用は、事業の構造改善を目的とした費用であり、主に有形固定資産除却損および組織・業務改革の推進に伴う費用が含まれております。

8. 金融収益及び金融費用

金融収益の内訳は以下のとおりであります。

(単位：百万円)

11. 配当金

12. 1 株当たり利益

(1) 基本的 1 株当たり四半期利益の算定上の基礎

(2) レベル3に区分された金融商品の調整表
E00752)

14. 偶發債務

